

最近使用のデジタル機器を聞く

近頃自宅の装置に取り入れた機器で面白そうなのをご紹介します。



1. PC 再生ソフト



PCでの再生も色々な新しいソフトがあり、変わったところでは BugHead, HySolid などがあります。これらを試してみた中で今では JPLAY が私的には一番音が良く感じられ、常用しています。歯切れの良い低音と高解像度の音は周辺機器のアップグレードで更に良くなります。

PCを2台使用するデュアルPCモードもあります。ただし、有料ソフトですし、使い勝手はあまり良くなく、安定性に掛けるのが難点です。

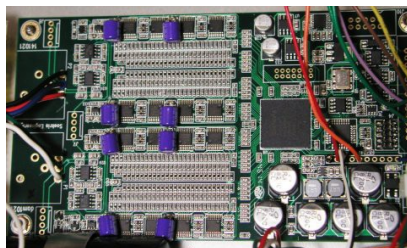
2. DD コンバータ

PCからDACに繋がるようなデジタル出力を取り出す機器で、最近は基板化されたものも入手できます。その方が出力形態の自由度も取れるので主に基板レベルで購入しています。

amanero Combo384、DIYNHK、electroART などを使っています。

またPCのUSB出力から基本的なデジタル4(3)信号を取り出しているのも、その後S/PDIFなりI2S出力などに変換するので各フォーマットを選べます。現在はHDMIケーブルによるI2S接続が中心です。

3. DAC



以前はPCM信号をハードでDSD変換して再生するDACを使っていましたが、最近は初心?に帰ってマルチビットDACを使っています。

マルチビットは今ではDACチップもPCM1704以外はほとんど無いので、ディスクリートタイプが中心になります。

MSBなどが有名ですが、SoekrisというメーカーがディスクリートDACの完成基板を販売していましたので、作ってみました。

基板上に28bitのチップ抵抗によるラダーDACが組み立てられて中々壮観です。性能もそこそこあり、入出力もきちんと備わっていてVRも付いているので、電源だけの追加で立派なDAC(プリ)になります。

4. デジタルアンプ



デジタルアンプも年々進歩して、以前ほどアナログアンプと音の差が無くなってきました。

今回のHypex社はオランダのメーカーでUcD(Universal Class D)と称してるアンプはオールオーバのNFが掛かっている、特性的にも優れたデジタルアンプです。

安価で簡単にハイパワーが得られ、SW電源と組み合わせれば軽量化も出来ます。

使用しているモジュールはUcD180で4Ωだと180Wまで出せますが、今回は電源電圧が低いので8Ωで約50Wです。